

平館高校家庭クラブが初の快挙 全国大会で文部科学大臣賞受賞

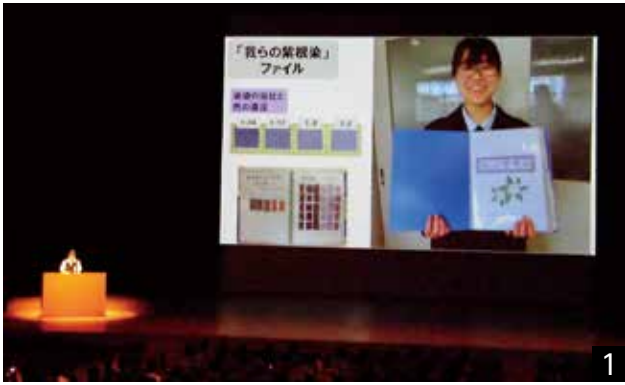
第66回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会は7月26日と27日の両日、文京シビックホール(東京都)で開かれ、東北ブロック代表として初出場した平館高校家庭クラブは、学校の文部科学大臣賞を受賞しました。

発表テーマは「再興!ハルさんの『知恵と技』〜我らの

紫根染をつなぐ実践〜」。澤口ハルさん(町組II)の染色技術をつなぐ活動と、市民向けの体験教室や平館小児童を対象とした出前授業を開催し、紫根染の魅力を地域の人々へ伝える活動内容を発表しました。
制限時間15分を超えないように、発表者である渡辺美鈴さん(3年)の進行に合わせて画像を巨大スクリーンに映し出

- 1 渡辺さんの進行に合わせて巨大スクリーンに画像を映し出す
- 2 文部科学大臣賞とクラブ員奨励賞のW受賞に笑顔を浮かべる出場者
- 3 澤口さんへ受賞を報告(8月9日)

し、澤口さんの肉声を紹介。ステージ上で紫根染の絹ストーリーを紹介するなど、発表の仕方にも工夫を凝らしました。
同賞のほか、参加者の投票で選ばれるクラブ員奨励賞も併せて受賞。最高の評価を受けました。



平館高校家庭クラブ

- 1部活動 2研究発表大会で担当した役割 3大会に向けて取り組んだこと 4大会の感想・今後の抱負など

渡辺美鈴さん Watanabe Misuzu (3年)

1美術部 2発表者 3制限時間15分間に収めることと、言葉に感情を込め、はっきりと伝えること 4受賞はとてもうれしく誇りに思います。後輩たちには、研究継続と紫薫枕など新たな活用の場が広がるよう頑張ってください。



吉田優愛さん Yoshida Yua (3年)

1美術部 2パソコン係 3進行に合わせてスクリーンに画像を映し出すこと 4最高の賞を受賞できてうれしい。ハルさんや先輩、地域の人たちに感謝したい。今後は後輩たちの手助けをしながら紫根染を広めていきたい。



新田淑稀さん Nitta Yoshiki (3年)

1家庭研究部 2照明係と展示物掲示係 3照明のタイミングを何度も確認したこと。また、分かりやすい展示ブース作りを心掛けました 4輝かしい賞を受賞できてうれしい。研究成果を後輩たちに引き継いでいきたい。



齋藤尚輝さん Saito Naoki (3年)

1ソフトテニス部 2音響係と展示物掲示係 3音を聞きやすい音量に調整すること 4全国のレベルの高さを実感。最優秀賞は心からうれしい。今後も小学校への出前授業や体験教室を続けて紫根染の伝統を守ってほしい。



神田瞳さん Kanda Hitomi (2年)

1吹奏楽部 2パソコン係 3 2台目のパソコンを操作し、万が一の時には切り替えできるようサポート 4大会では焦らずに、優愛さんのタイミングに合わせることができた。次の地区大会に向けて頑張りたいです。



工藤蘭さん Kudo Ran (2年)

1陸上部 2実物提示係 3日向さんと一緒に腕の高さや動作のタイミングを確認し、紫根染の布の見せ方を練習しました 4大会では緊張しましたが、練習の時よりうまくいきました。次の地区大会でも頑張りたいです。



松浦日向さん Matsuura Hinata (2年)

1演劇部 2実物提示係 3紫根染の布を真っ直ぐ持つなど、見せ方を練習しました 4大会では練習の時以上の力が出せました。会場のライトが紫根染の布に当たってとてもきれいでした。この感動を伝えていきたいです。



加藤幸美 教諭 Kato Sachimi (顧問)

大会では生徒の力強さを感じました。受賞は出場した生徒の努力と、他の家庭クラブ員や卒業生が積み重ねてきた活動の成果だと思います。今後は2年生を中心とした新体制で、9月26日の盛岡地区大会に臨みます。

